

平成 28 年度第 1 回理事会議事録
公益社団法人日本滑空協会

開催日時:平成 28 年 5 月 14 日 14:00～16:00
開催場所:航空会館 202 会議室

会場で配布された議案資料および理事から提案のあった案件について審議・裁決を行った。
会長および常務理事が一般社団法人法上の業務執行理事として報告を行った。

開会および定足の確認

定款 37 条に基づき、会長が議長を務めて開会を宣言、全役員出席で理事会定足を満たし、理事会が成立することを確認。

理事会出席者:井上善雄(理事)、甲賀大樹(常務理事)、坂井正一郎(常務理事)、
佐藤淳造(会長)、鈴木康一(常務理事)、谷口良知(監事)、日口裕二(理事)、丸山毅(理事)、
山本隆章(監事)、吉田茂(理事)、吉田正克(常務理事)

議事録署名人

定款第 41 条 2 項に基づき、議事録署名人は佐藤淳造会長、谷口良知監事および山本隆章監事が務める旨、
会長が宣言。

議長挨拶

本日は 6 月 12 日(日)14:00～17:00 航空会館 801 会議室で開催される当協会平成 28 年度総会の議案を決め、
業務執行理事の報告を行うことである。

理事会議案

第 1 号議案:平成 27 年度事業報告案および決算報告案並びに監査報告

第 2 号議案:平成 28 年度事業計画および予算の確認

第 3 号議案:役員改選案

第 4 号議案:平成 28 年度総会開催計画および議案等策定

第 5 号議案:新しく制定した当協会規程

理事提案案件:① 日本滑空記章試験員登録料無料化について(吉田常務理事提案、関連提案:鈴木康一常
務理事)

② 委員会設置について(日口理事提案)

理事会議案および理事提案の説明

*議長より、第 1 号議案で事業報告案と決算案を一括審議してはどの提案に出席者が賛成、甲賀事務局長が配
布資料を使い当協会の財政状態、事業内容の説明を行った。更に、議長の要請により山本監事が監査報告を
行った。

*第 2 号議案について、議長より 2 月の理事会審議以後内容に変更はないかの確認があった。

*第 3 号議案について、後藤氏について佐藤会長、佐志田氏および八尾氏について井上理事、玉中氏につい
て鈴木常務理事より紹介があった。

*第 4 号議案については、議長より以下の総会予定等が提案された。

開催日時:平成 28 年 6 月 12 日(日)14 時より 16 時頃まで

開催場所:航空会館 8 階 801 会議室

議案:

- (1)平成 27 年度事業報告(総会報告事項)および同決算報告案(総会決議事項)
- (2)新役員(理事および監事)の選出
- (3)平成 28 年度事業計画および予算(一般報告事項)
- (4)新しく制定した規程について(一般報告事項)

*E メールで提案のあった日本滑空記章試験員登録料無料化について吉田常務理事から説明があった。

*E メールで提案のあった委員会設置について日口理事から説明があった。

理事会議案説明についての質疑応答

1 第1号議案(平成 27 年度決算報告案)

山本監事から決算書 金額 1 か所の誤記指摘があり、該当箇所を訂正する。

2 第 2 号議案(平成 28 年度事業計画および予算)

坂井常務理事:役員交代に伴い、平成 28 年事業計画の中の担当者氏名、肩書などを修正する必要がある。
更に一部西暦数字の誤記訂正、事務局で対応。

山本監事:予算書に空白で残されていた一般正味財産期首残高の記入、事務局で対応。

3 第 3 号議案

再任役員井上、甲賀、日口、丸山、谷口(監事候補)、吉田正克(監事候補)各氏以外、新任理事候補者の紹介

後藤昇弘氏 東京大学大学院航空学専門課程博士課程修了 九州大学教授、運輸安全委員会委員長

佐志田伸夫氏 東京大学卒 シュナイダーエレクトリック(株)、現関西エアロスポートクラブおよび東大航空部

相島正敏氏 東海大学卒 (株)ジャムコ、現インストラクターマニュアルプロジェクトリーダー

八尾正孝氏 学習院大学卒 (株)リクルート、現TKSサポート 学習院大学航空部、滑空スポーツ活動

篠原治男氏 宇都宮大学卒 本田技研(株)、現 NPO 関宿滑空場会長、安全推進リーダー

玉中宏明氏 早稲田大学卒 会社経営、現指定養成技能審査員・事務局長

4 その他提案議題

4.1 甲賀事務局長:平成 27 年度第 2 回理事会で平成 27 年度決算前に滑空スポーツ公益基金繰入額をとりあえず 100 万円としたが、決算後の現在、130 万円を繰入るよう再決議したい。

4.2 吉田常務理事 日本滑空記章試験員登録料無料化:(公財)日本学生航空連盟支部で東海関西から九州に行くほど、日本滑空記章制度が浸透しておらず、全国大会選手要件に銅章保持が入っていない。また登録料を払ってまで記章試験員になる教官が少ない。登録料無料化して制度普及推進することを優先するべき。

甲賀常務理事:有料化により平成 23 年度の当協会財政危機乗り越えの財源になり、かつ名誉職として何もしない試験員が有料化で大勢整理できた面がある。

丸山理事:登録料を低減してはどうか。

吉田常務理事:登録料の多寡の問題では無い。

甲賀常務理事:金額改訂は混乱のもとになるので、よほどのことでないかぎり事務手続上望ましくない。

鈴木常務理事:滑空記章試験員の任命時、資格要件を確認したうえで任命するべきである。

甲賀常務理事:事務局では資格要件確認のうえ任命している。実績の無い試験員が生じ、登録料無料時代はその人数が多かった。いずれにしろ、お断りの連絡を行うための作業がある。

佐藤会長:試験員に仕事を依頼しているにもかかわらずお金をいただくのは違和感がある。

丸山理事:他のスポーツ団体で、指導員が統括団体に登録料を支払って就任している例は多い。

4.3 日口理事:平成 27 年度第 2 回理事会の際、具体的な委員会設立案を取り下げたが、現在は内容が具体化し、実際に動いている安全委員会およびインストラクター委員会を設立したい。

4.4 日口理事:安全委員会は全国滑空団体を網羅するため、委員会規程第 5 条の委員数 10 名以下が障害になる。20 名以下に改訂したい。

甲賀常務理事:委員会活動で委員数が多いのは弊害になることが多いので、「10 名以下」の表現を変えて、委員会状況によって多少人数を調整できるよう規程改訂したい。

1. 理事会決議

第 1 議案:平成 27 年度事業報告および決算報告案(監査報告、財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書)並びに監査報告 異議無く採決

第 2 議案:平成 28 年度事業計画、同予算 異議無く採決

第 3 議案:役員改選案 異議無く採決

第 4 議案:平成 28 年度総会開催計画および議案等策定 異議無く採決

第 5 議案:新設規程の報告:委員会規程、滑空スポーツ公益基金取扱規程、資産管理規程 異議無く採決

2. その他決議事項

2.1 平成 27 年度滑空スポーツ公益基金繰入額を平成 28 年第 2 回理事会で決定した 100 万円繰入を 130 万円に変更する。事務局で実施する。異議無く採決

2.2 日本滑空記章試験員登録料を無料とする。挙手で決を取り、賛成多数で採決。

次期登録時(2018 年 1 月)より事務局が実施。この変更に伴い、日本滑空記章規定および日本滑空試験員規定の整合性を鈴木常務理事が確認する。

2.3 安全委員会およびインストラクター委員会を設置する。異議無く採決。設置および活動開始に伴う事務処理は日口理事が担当する。

2.4 委員会規程第 5 条文言変更に異議無く、事務局が担当して下記のように変更する。

委員会には、10 名以内の委員を置く。➡ 委員会には、10 名程度の委員を置く。

理事業務報告 平成 28 年 4 月 1 日以後について

佐藤会長

4 月 21 日 新理事候補者に現役員代表者から説明を行い、内諾いただく会議を開催した。

吉田常務理事

4 月 29 日～5 月 1 日 蕪崎滑空場 第 49 回全日本高等学校滑空選手権大会

吉田常務理事開会式出席 4/29-30、4/30 坂井常務理事観戦、5/1 甲賀常務理事閉会式出席。

5 月 3 日～5 日 大野滑空場 ローズカップ、閉会式に吉田常務理事出席、賞状授与。

4 月 30 日～5 月 4 日 第 34 回久住山岳滑翔大会 熊本地震のため中止。

甲賀常務理事

滑空機事故多発に対応し、全国滑空団体に情報提供し、安全運航を推進している。

3 月 17 日千葉県栄町で JA50KM 民家の屋根に墜落 2 名死亡した事故は航空局から当協会会長宛に安全確保要請の通達をいただき、マスコミの事故報道姿勢などから滑空界の立場を悪くする可能性があった。当協会では全国滑空団体に下記提案を行い、各団体の実情に合わせた運航安全向上策を再検討してご報告いただくことにした。49 団体に提案を送り、22 団体から報告、内 1 団体は報告しない旨、もう 1 団体は報告を航空局には提出しない要請だった。4 月 27 日甲賀常務理事および篠原治男安全推進リーダーが航空局に上記報告書

を持参、説明および報告を行った。

提案内容:①滑空スポーツは一般市街地上空がフィールドなため、地上の第三者に被害を与える可能性がある。万一でも第三者に被害を与えないと言う意識を持ちたい。②会員が機体の性能特性を熟知して搭乗しよう。各滑空場で地上第三者に被害を及ぼさない運航を行うためのローカルルールの見直しを行おう。固定翼機の宿命であるストール・スピンに対して、ソロで飛ぶ人、インストラクターあるいはセーフティパイロットそれぞれが活動内容に伴う十分なストール・スピン対応能力を持って飛行しよう。異常姿勢からの回復トレーニングについて当協会は支援を行う。

3月17日の事故に対応して、これ以外にも国内全滑空団体で大きな自主的活動が行われた。

井上理事

本年度スカイスポーツフェスタは10月23日(日)於妻沼滑空場で実施することに調整し、熊谷市はそのスケジュールで準備している。室屋義秀氏のレッドブルデモ飛行の手配を行った。

鈴木常務理事

平成28年第1期指定養成事業宝珠花訓練所の訓練が熊本地震で中断となり、5月14日再開した。

坂井常務理事

毎週ホームページの写真入替を行い、7月発行のISA Info 第309号の編集を行っている。

その他

議事終了後、佐藤会長および鈴木常務理事より退任の挨拶があった。

閉会

以上を以てすべての議事を終了し、16:00、議長により閉会が宣言されました。

平成28年5月14日

公益社団法人 日本滑空協会

議長 会長

議事録署名人 監事

同 監事

議事録作成人